

ち づ

# 智頭 議会 だより



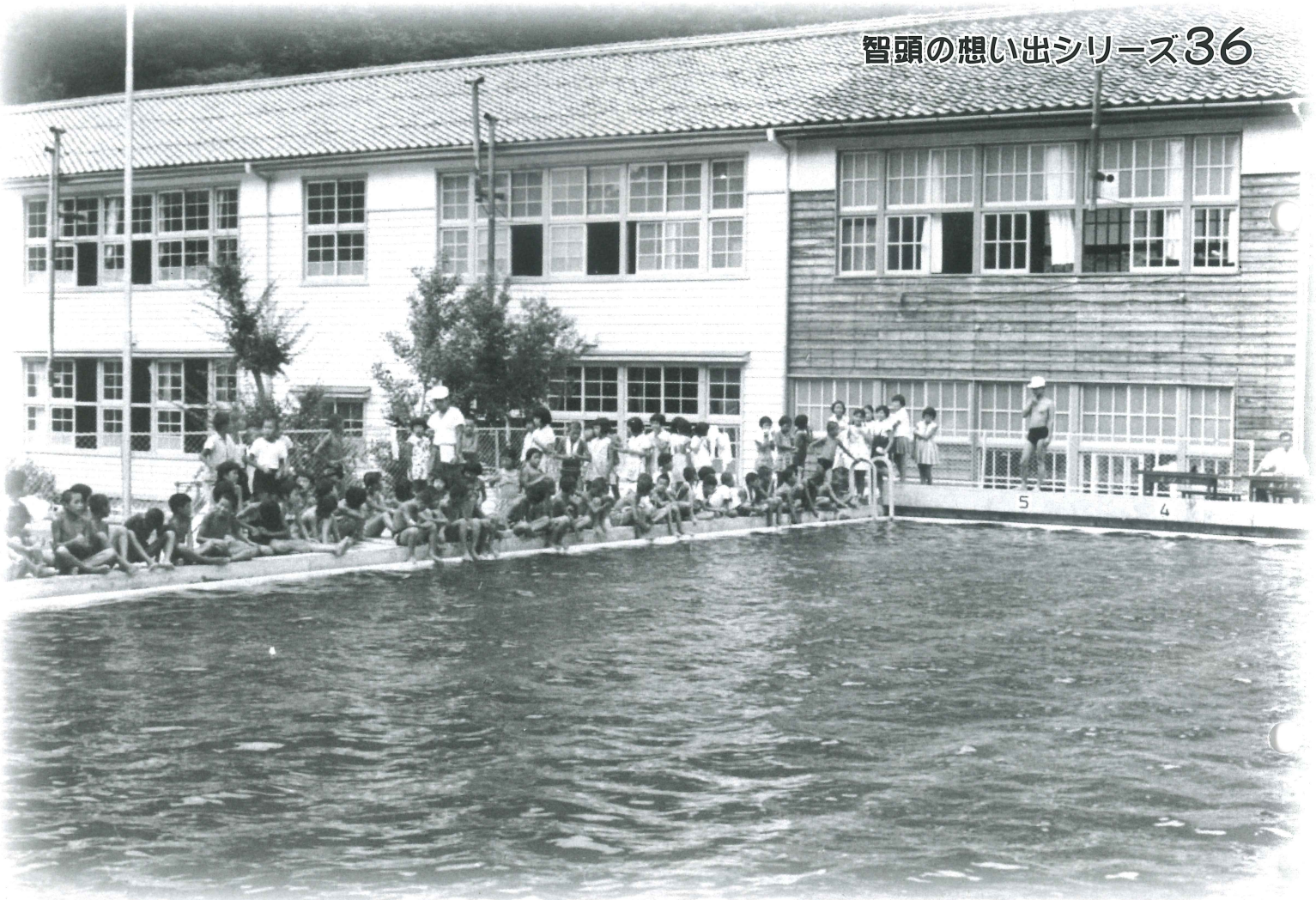
町の花  
どうだんつばき

鳥取県智頭町議会

第147号

発行：令和元年7月19日

智頭の思い出シリーズ36



昭和30年代 プール開き (旧山郷小学校)

☆消防出張所の移転造成費など**補正予算を可決**…P2

☆**6人の議員が登壇し一般質問**…P4~P9

☆議会・議員に魅力がないなど**町民アンケートに厳しい声**…P11

☆**町民の声** (山形地区) …P12

# 6月定例会

# 消防出張所の移転造成費など可決

6月定例会（6月7日～14日）は、町長から提出された補正予算案など22議案ほかを審議し、原案どおり可決しました。主な補正予算の概要は次のとおりです。  
 一般質問は、6人の議員が登壇し、町政の諸課題を問いました。（4～9ページ）



**八頭消防署智頭出張所の移転造成費**  
 5440万円

**森林整備促進基金の積立金**  
 2500万円

**地籍調査事業**  
 2399万円

■財源  
 借入金  
 （緊急防災・減災事業債）

■財源  
 国から地方への譲与税  
 （森林環境譲与税）

■財源  
 県の補助金 1481万円  
 町のお金 918万円

■概要  
 設計監理・測量委託料  
 586万円  
 造成工事費 4854万円

■概要  
 今年度から譲与されることになったため、新たな基金として積み立て、森林整備の促進のための費用に充てるもの。

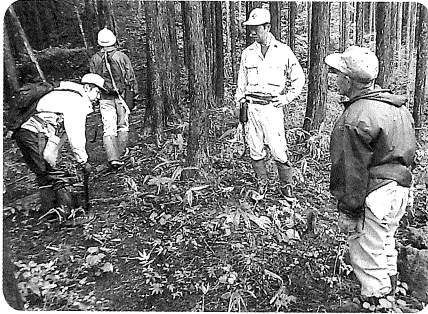
■概要  
 国からの配分増額に伴い増額し、事業の進捗を図るもの。



移転先は下水処理場(左奥)と鳥取道進入高架橋(上)の間



令和6年度から課税される森林環境税(年間千円)制度を前倒して譲与



山地での境界調査

## 【令和元年度予算の補正】賛成多数(議長を除く 出席者全員)で可決

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容(上記以外)	
一般会計	1億5236万円 増	69億4236万円	・道路新設改良費 (1040万円) ⇒国補助金の配分増により、町道整備のための測量設計委託料の増額 ・公共施設管理事業 (905万円) ⇒旧山郷小学校に自家発電機など消防用施設を整備(簡易宿泊所とするため) ・移住支援金 (200万円) ⇒東京23区内在住者又は通勤者の本町への移住による就業に対する支援(国の新規事業 100万円2人分) ・4月の人事異動による人件費の調整	
特別会計	国民健康保険事業	110万円 増	7億7725万円	4月の人事異動による人件費の調整
	公共下水道事業	2万円 増	3億876万円	〃
	農業集落排水事業	20万円 増	3億4196万円	〃
	介護保険事業	507万円 増	10億6135万円	〃

次ページから

## 一般質問について

一般質問とは、議員が町政全般について疑問に思うことを、町長や教育長などに伺うことです。

町長などは町民の代表者である議員の一般質問に答えることで、間接的に町民の皆さんにお知らせする側面があります。

- ※ 1 一般質問の内容は、質問者自らが要約・執筆したものを掲載しています。
- ※ 2 議会事務局で、住所・氏名を書いていただければどなたでも議場で傍聴できます。人数に限り(24席)がありますのでご了解ください。

### 一般質問の録画をインターネットで見ることができます。



智頭町議会録画放送

検索



智頭町議会の傍聴席

6月定例会には延べ**35人**の傍聴者がありました。  
(うち一般質問には延べ30人)

## 陳情の審査結果

賛成多数(議長を除く全員)で可決

件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
青少年健全育成基本法制定(意見書提出)	全日本青少年育成アドバイザー連合会 会長 山本邦彦	採択
口早野集落(古屋上谷)土砂流出防止対策、水路改良	口早野集落世話人 久本繁夫	趣旨採択【※1】
自家発電機設置など(旧山郷小学校内)	一般社団法人山郷地区振興協議会 会長 葉狩健一 ほか1団体	採択
山郷地内信号機の現状復旧(旧山郷小学校前)	山郷財産区議会 議長 早瀬 勲 ほか4団体	趣旨採択【※2】
鳥巢部落水路改良	鳥巢部落世話人 平尾 稔	採択
地方財政の充実強化(意見書提出)	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村裕生 ほか1団体	採択
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元(意見書提出)	鳥取県教職員組合 東部支部長 橋本智洋 ほか1団体	採択
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充(意見書提出)	鳥取県労働組合総連合議長 田中 暁	趣旨採択【※3】

### 趣旨採択の理由

- 【※1】 県の事業となり、今後の状況をみて県に要請するため。
  - 【※2】 既に関係機関と地元が他の対策案を含めて協議中であるため。
  - 【※3】 意見書の内容に性急的な表現があるため。
- 趣旨採択とは「願意は妥当だが実現性の面で確信がもてない」ということ。

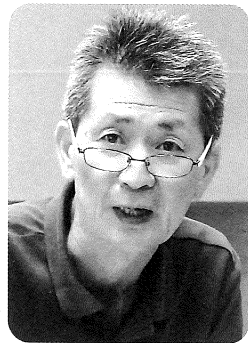
## 工事請負契約の締結

賛成多数(議長を除く全員)で可決

(予定価格が5千万円以上の工事は議会の議決が必要)

工事名	新智頭図書館建設工事
工事場所	智頭町大字智頭地内
契約金額	4,939,900,000円(税込)
契約の相手方	鳥取市賀露町 ジューケン・原田特定建設 工事共同企業体
契約の方法	随意契約(※)

(※)一般競争入札の結果、予定価格に達しなかったため落札者がなく、最低価格入札者との協議が整ったことから随意契約としたもの。(法令に基づいた措置)



河村 仁志



福祉施策

町長／地域包括ケアシステムに組み込む  
共生型サービス事業の取り入れを

問 同一事業所で一体的に介護保険と障がい福祉サービスを提供する取り組みとして、地域の実情に合わせて人材をうまく活用しながら、適切にサービス提供を行う共生型サービス事業を取り入れた福祉施策の考えはないか。

答 町長 制度化される以前から、町内の事業所で共生型サービスの取り組みは始まっており、介護保険の訪問看護と障がい福祉サ

ビスの重度訪問看護や居宅介護が一体的に提供されている。障がい者の通所系サービスなど生活介護については実施事業所がなく、今後の課題である。障がい者の高齢化、重度化が進む中で、地域包括ケアシステムの取り組みを考える上で時宜を得たサービスであり、今後本町の地域包括ケアシステムに位置付けていきたい。

問 各地区暮らしを考

える会が3回のグループワークとして行われ、方向性を検討するようになってきている。今後の方向性の結論はまとまったのか。

答 町長 今年度は地域の課題解決に向け、昨年度実施した実態調査の結果説明を各地区で行い、自分たちの集

落や、地区での生活課題にどう向き合って、どう行うかモデル地区を設定して、より具体的な取り組みを行う。



新図書館建設予定地



河原町商店街

問 新図書館を中心とした河原町商店街賑わい創出の案は切り離して、それぞれ考えるべきではないか。

答 教育長 新しい図書館を新たな人の流れを作って、町民や観光客で本を借りるだけではなく、新たな何か町づくりの拠点に持っていききたい。

問 町長公約の新図書館建設が行われ、任期が残り1年となったが、後継者の育成は。

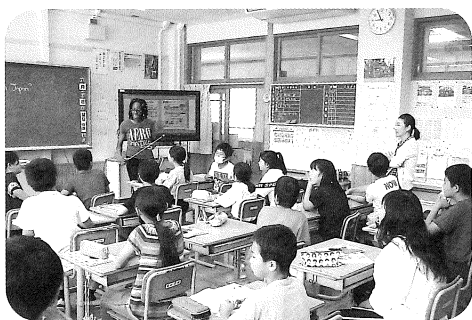
答 町長 農林業後継者の育成、病院を核とした安心して暮らせるまちづくり、若者の移住定住の推進など、まだまだ道半ばの公約もある。進退をどうするかまだ考えていない、残された1年間を全力疾走で走り、約束した事業をどこまできちんとやるかそれに邁進する。

新智頭図書館

商店街の賑わい創出は切り離すべき  
教育長／新たな連携を積極的に進める

**答 教育長** 物事を分析する力を磨き、身近な問題の解決に主体的に取り組む態度の育成である。新しく教科が増えるのではなく、授業の一部にプログラミング的思考の要素が組み込まれることになる。

**答 教育長** 環境整備には従来から力を入れてきたが、今後はタッチパネル式の電子黒板の導入も検討している。全ての先生が得意とは言えないのでICTの支援員、専門員の導入による支援体制を整えていく。



楽しく英語を学ぶ子どもたち「智頭小学校」

**問** 次年度から小学校でプログラミング教育（論理的思考力を育む）が必修化される。そのねらいや期待するものは何か、授業内容がどのように変わるのか。

**問** 円滑な実施に向けてはICT（情報通信技術）の環境整備や教育現場で混乱をきたさないように専門家による支援が必要ではないか。

**答 教育長** 実際に体験しながら学ぶなど、児童生徒の学習意欲や興味を高めることが必要と考える。より効果的な授業になるように研究を進める。

**プログラミング**  
必修化によって期待するものは  
教育長／社会での応用力を身につける



大河原 昭洋



**問** 百人委員会からも提案があったように子どもたちは興味を示せば知識をどんどん吸収することができる。最初が肝心であり、子ども目線で考えた授業スタートが重要ではないか。

**問** 活性化には広がりのある観光地づくりが必要と思うが、このたび、本町を含む1市6町で広域連携する「麒麟のまち」が日本遺産に認定された。それを生かす取り組みは。

**答 町長** 観光推進を図る中で、観光客の滞在時間をいかに延ばすかが重要なテーマであり、今回提案のクーポンは全く考えていなかった。点から線、線から面へと考えた斬新的で素晴らしいアイデアと思う。今後というのではなく早速検討に入る。

**答 町長** 本町では神社や石谷家住宅など6つの文化財が選定された。情報発信や環境整備を効果的に進める。

**問** 智頭に来られた観光客が他の施設にも足を運ぶように、割引クーポン券などを活用して町内観光施設と飲食店などが連携する仕組みを考えてはどうか。



観光の窓口「智頭町総合案内所」

**観光活性化**  
町内観光施設の丸ごと連携を  
町長／素晴らしい提案だ、早速検討



高橋 達也



大麻栽培跡地

農地復元どうするのか

町長／一番よい方法で解決に向けた

現町政の任期末は1年後となった。解決を要する項目の一つに大麻栽培跡地の農地復元がある。

町長 基本的には当事者同士の問題だが、町が関与して事業推進してきた経緯を踏まえ、できる限りの対応を考

問 当事者と連絡が取れない状況が続いており、解決は難しい。特例的な対応が必要だ。



利活用が期待される旧町民体育館

旧町民体育館

利活用の検討状況はどうか

町長／大規模改修には財源の確保必要

議会も賛同して事業を進めてきた。一緒にいい知恵を出して解決していこうではないか。

町長 いい案があれば教えていただき、一番よい方法で解決に向けた。

問 利活用について、これまでの一般質問では「慎重に検討する」という答弁だ。質問後1年半が経過したが、どのように慎重に検討してきたのか。何か方向性があるのか。



大麻栽培されていた農地 水路上に深掘りされたまま放置されている

石谷家住宅

大屋根改修に向けた対応は

教育長／調査実施に向け具体的に進める

町長 現状では利用に耐えられる状態ではないため、①撤去、②大規模改修、③希望者への譲渡が選択肢と

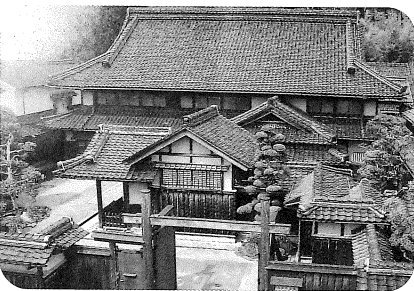
して想定される。①と②の場合は財源の確保が必要だ。議員の皆さんとも相談したい。

問 議会は平成29年度の決算をもとにした事業評価で「大屋根改修の年次計画を明確にし、早期に実施すべき」との評価結果を昨年10月に町へ報告した。対応状況はどうか。

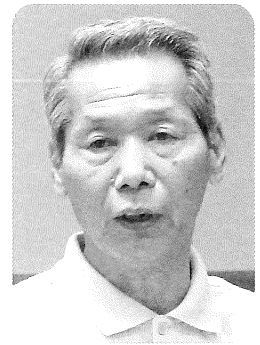
答 教育長 専門家からもなるべく早く調査をしなければならぬと指摘されている。調査実施に向けて具体的な検討を進めたい。

問 文化庁との協議調整はしているのか。

答 教育長 文化庁とは直接話はしていないが、県の文化財課とはかねてから協議しており、調査には3年から5年を要すると言われている。



大正8年の着工から100年を迎える石谷家住宅



國本 誠一



差別解消

ネットモニタリングを実施する考えは  
町長／担当者の準備を進める

**問** インターネット上における差別助長表現の監視モニタリングを行う考えはないか。

**答** 町長 インターネット上における差別を助長する誹謗中傷や身元調査などの行為を大きな課題として認識し、講習会への参加や、職員の研修を深めているところだ。担当者の選任など準備を進めた上でなるべく早い時期にモニタリングを行いたいと考えている。

**問** 鳥取県が進めているモニタリングのネットワーク構築のため、各市町へ参加を要請していると聞いているが参加への考えはどうか。

**答** 町長 今年度から、県内のモニタリングネットワーク構築に向けて動き始めたところであり本町においても、講習会への参加や職員を対象にした研修の実施、情報収集や情報交換に努め、担当者の選任などネットワークへ

の参加の準備を進めているところである。



**問** 2年半前に施行された部落差別解消推進法を具体化するため、既存の条例あるいは新たな条例の制定を今年度において検討されるが、その中にネットモニタリングに対応する取り組みについて明文化されたい。

\*モニタリング(監視) 科学技術の進歩によって、情報化社会は益々発展し、インターネットは私たちの生活の一部になろうとしています。そのインターネットを悪用し、差別や人権侵害が本人の知らないなかで存在しています。

**答** 町長 現在、条例策定の準備を進めているところである。また、インターネット上における差別や人権侵害禁止について明記するよう検討しているところである、あらゆる角度から検討対処していく。

モニタリングはこのようなネット上の▽個人のプライバシーの侵害▽他人を誹謗中傷▽差別を助長する恐れがある書き込みなどを見つけ、その内容に適切に関係機関などを通じ削除要請を行う取り組み。



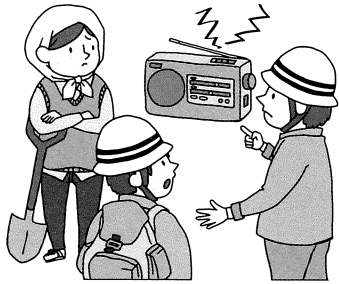
中野 ゆかり



NHKラジオ

町内全域で受信可能にすべきでは  
町長／事業者（NHK）が対応すべき

**問** 防災の観点から、公共放送としてNHKラジオ放送の役割は大きい。また、災害時だけでなく、通常の生活において聞くことで、脳へ刺激を与えたり、教育的放送も豊富なため、社会教育面での充実にもつながる。また、農作業時において、獣よけにもなる。しかし、町内で聞くこと（受信）ができない集落も多々ある。そこで、自治体として受信できる環境整備に努めてはどうか。



あなたの家や集落では、NHKラジオを受信できますか

**答** 町長 本町は非常時の情報伝達手段として、防災行政無線を整備している。ラジオ放送難聴対策については、事業者が対応すべきと考える。NHK側も難聴の場合、個別に対応するという回答だった。

防犯対策

振り込め詐欺対策の強化を  
町長／通話録音機の貸し出しを行う

**問** 町内において、振り込め詐欺にあう寸前で、金融機関と警察との連携により、未然に防いだという話を聞いた。安堵の気持ちと同時に、身近で起こる詐欺に対する恐怖を感じた。振り込め詐欺に対する本町の対策は。



オレオレ詐欺に要注意

**答** 町長 毎週水曜日に智頭町消費生活相談室を開設し、相談体制を整えている。また、全国的にも例をみない、消費者行政対策ネットワーク協議会を開催し、警察、民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携をはかりながら、地域のつながりによる見守

りネットワークの強化を進めている。また、町報や告知放送などによる啓発にも努めている。

している。本町でも検討してはどうか。

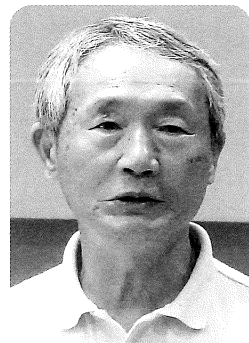
**答** 町長 平成27年度に悪質電話勧誘被害防止モニターを募集したが、希望者がいなかった。しかし、特殊詐欺の未然防止に通話録音機器は効果的であると考えられるため、希望者を募り貸し出しを行う。

**問** 県外の取り組みの事例として、振り込め詐欺など対策電話機などの購入に係る費用の一部を助成したり、今使っている電話機にコードを接続するだけで使える振り込め詐欺撃退装置を貸し出したり

している。本町でも検討してはどうか。







岸本 眞一郎



総合戦略

成果と課題は

町長／課題は山積みしている

**問** 智頭町総合戦略は町の人口目標を2040年に5000人としているが、人口減少率が県内で最も高く昨年は230人も減少している。総合戦略の成果と課題は。

**答** 町長 平成29年度までの数値は雇用創出では35人に対し39人、移住定住では175人に対し96人、合計特殊出生率は1.68人に対して1.33人、地域活

**答** 町長 都市部などに住みながら関心を持った特定の地域に対し、継続的な関わりを持つ人を増やす取り組みで、本町では疎開保険、森林セラピーの促進や都市部自治体との関係構築などを考えている。

性化の観光入込客数は20万人に対して12万1488人で村泊参加集落5は0だ。

**問** 次期戦略重要目標の関係人口拡大策は。

**問** 今年度の当初予算は約67億9千万円だが、歳出では新規事業21項目と対前年度比約7千万円増の公債費が目につく。

起債残高約85億5千万円は今後の財政運営に不安を感じる。

人口減少に伴う町税、交付税の影響は。

**答** 町長 町税及び交付税については長期的には人口減に伴い減少するが、さまざまな要因によっても上下する。

**問** 今年度で行財政改革プランの期限が切れる。新規の財政見通しが必要と思うが。

**答** 町長 次期の改革プラン策定に向けて準備を進めている。

**問** 起債残高の現状からみた今後の公債費支出のピークはいつか。

令和2年度中に策定したい。

**問** 基本目標別数値目標の達成度は。

**答** 町長 人口については緩やかな減少で、自伐型林業家も増加しているが、課題は山積みしている。



↑総合戦略のパンフレット

町財政

公債費のピークは

町長／令和6年から8年にかけて

**問** 今年度の当初予算

**答** 町長 平成30年度

が中学校改築、防災無線など、令和2年度から保育園建設の償還が始まり図書館建設の償還が始まる令和6年から8年にかけてピークを迎えると考えている。

# 議員報酬のあり方など学ぶ

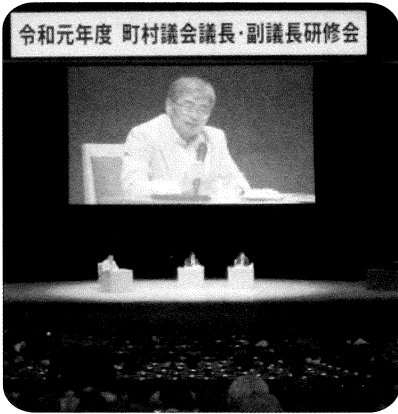
令和元年度 全国

## 町村議会議員・副議長 研修会

■日時 令和元年5月28日  
■場所 東京国際フォーラム

「町村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告」について、山梨学院大学 江藤俊昭氏・明治大学 牛山久仁彦氏・首都大学 長野基氏の三教授により、議論の経緯、論点の深部に対する思いが多岐にわたり分析、報告されました。

二日目は全国町村会館で、「地方財政の現状と課題」をテーマに総務省の担当課長より、主に地方交付税のあり方を学びました。



江藤教授の講演

## 民生常任委員会

報告者：河村仁志委員長

副委員長：安道 委員：大河原、岸本、大藤

# 臭いのない牛ふん肥料の取り組みと ドローンによる農林業の効率化を学ぶ

■視察日 6月18日  
■視察地 石川県河北郡内灘町

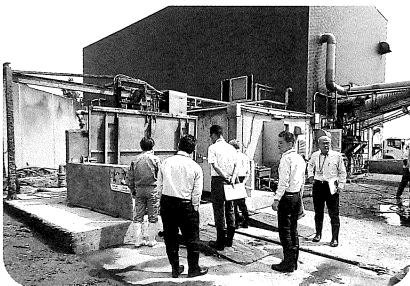
### 【かほがた 河北潟ゆき

近年若い年代の酪農家が増える傾向にある中、飼育頭数も増え、牛のふん尿も増える問題の解決策としての取り組みを視察しました。

現在13農家で構成する酪農団地から発生する家畜ふん尿の汚水浄化処理を引き受け、地域内における資源循環と土づくり推進の観点から、家畜ふん尿堆肥の生産から利用までを行っています。

団地から1年間に出る約3万トンのふん尿を受け入れ、高温発酵させて嫌な臭いを無くし、有害な大腸菌などを死滅させた安全な肥料が作られています。

今後本町の農業でも考えるべき課題だと思ふ価値ある研修となりました。



家畜ふん尿の汚染浄化処理施設を視察

■視察日 6月19日  
■視察地 石川県白山市三宮町

### 【石川県林業試験場】

平成26年2月に石川県・コマツ・県森林組合連合会の三者で林業に関する包括協定を締結し、林業生産活動に活用したスマート林業（IOT※）を活用した省力型林業の構築に向けた取り組みを実施しています。

ドローンの活用による伐採前の森林資源調査の効率化や、ドローン操縦技術者の育成など、まだまだ課題はあるように思われます。本町においても、ドローンによる撮影データで資源量を把握するなど、必要な取り組みだと考えられます。

（※身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み）



ドローンの説明を受ける

## 町民アンケートに厳しい声

議会、議員に魅力がないなど

議会改革の審議の参考にするため、各地区で年度末から年度始めに開催された行事の際などに議員がアンケート用紙を配布し、町民の意見を把握しました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。概要を紹介します。

### 問1. 前回の町議会議員選挙が無投票になった原因は何だと思われますか。(複数選択可)

- A 政治に関心がないため……………210人
- B 町議会・町議会議員に魅力がないため……………226人
- C 定数が多いため……………131人
- D その他……………34人
- 未回答……………19人

【議会の分析】Bが最多だが、真意は「議員になってまで苦労したくない」ということではないか。

### 問2. 議員に立候補しにくい理由は何だと思われますか。(複数選択可)

- A 議員報酬(月額22万9千円)が少ないため……………74人
- B 選挙にお金がかかるため……………139人
- C 現在の仕事との両立が困難なため……………252人
- D 家族の理解が得られないため……………142人
- E その他……………63人
- 未回答……………24人

【議会の分析】Cが圧倒的の最多だが、議員の仕事への敬遠に加え、現在の仕事が疎かになり収入が減ることや、現在の仕事をやめた場合、議員報酬では生活が困難になるという意味合いが包含されているのではないか。

アンケート結果の詳細は議会のホームページに掲載しています。



■ 年代	■ 性別	■ 記入者数
60歳以上…約6割	男49%	44人
30歳代以下…約1割	女32%	44人
	未回答19%	

## 議会報告会を開催しました

■ 開催日・地区  
5月22日 山形地区・土師地区  
5月23日 山郷地区・富沢地区  
5月24日 智頭地区・那岐地区

■ 参加者総数  
今年で9回目となりましたが、初めて参加者総数が百人を超え、過去最多となりました。

■ 参加者の方々から出されたご意見・ご要望は、議会では整理して町長へ提出し、その回答は次回の議会だよりに掲載します。

■ 報告会の概要は議会のホームページに掲載しています。



参加いただきました皆様、ありがとうございました。



山郷地区会場(5月23日)

### 問3. 現在の智頭町議会は住民の役に立っていると思われますか。

- A 役に立っている……………103人
- B 少しは役に立っている……………172人
- C あまり役に立っていない……………115人
- D わからない……………55人
- 未回答……………7人

【議会の分析】約6割が肯定的な意見だが、他の設問では議会・議員の資質に厳しい意見が多く、真摯に受け止めて資質向上に一層努力しなければいけない。

### 問4. 議会に対するご意見をどうぞ

(主な意見)

- ・ 議員報酬はたくさんもらいすぎだ。
- ・ 若い人(30～40歳代)が議員になれる環境づくりが必要。仕事内容によって報酬を変えてはどうか。
- ・ 定数を削減し、議員の仕事に集中すること。
- ・ 議員は役場執行部に飲まれているようだ。
- ・ 議会は追認機関になっている感がある。
- ・ 一部議員には公人としての自覚が見られない。
- ・ 議員の資質が問題だ。
- ・ 女性議員を増やしてほしい。

# 地元の人と話したご縁で移住を即決

～想像していなかった毎日を送る～

しまだ ゆうか  
鳥田 優華さん(山形地区)



優華さん(左)とご家族(自宅隣の畑にて)

越してきて早7年

ここに住みたいと言った夫の一言に私も即答し、雪の降る12月に八河谷へ越してきて早7年。地元の方から田畑をお借りして土地の恵みを頂いています。

現在、智頭町大好きな夫婦共々、畑だけではなく町内のお仕事を頂いたり民泊でおもてなしをしてみたり、想像していなかった毎日を送っています。

子育て世代にも優しい町来てから何度か集落孤立も経験しましたが、そのた

びにここで住む方々の強さとたくましさに触れ、私

が今すべきこと、ここでできることは何なのかを問いながら生活してきたように思います。

幼かった息子は来年中学生、智頭生まれの娘は4歳。作物も子どもたちものびのび育ち、とつても味のある子たちになりました。町内ではいつも気軽に声をかけて頂き、議会だよりに目を

通せば、次は保育園が新しく建つみたい、次は図書館だと情報を頂き、子育て世代にも優しい町だなと感じています。

住みやすい環境づくりに

水と空気のきれいな場所を求めて来た智頭町は「町思いの人が多い町」「人の温かさが感じられる町」へと印象が変わりました。そういえば直感でここに住むと決めたのは地元の人と話

したご縁からでした。

そして次はその町の一員として住みやすい環境づくりに貢献していきたいと思っています。まずは未来を担う子どもたちを育てることが目下のお仕事として、これからも皆さまに変わらず見守って頂けるとうれしいです。

## つくろうよ

## 事故なし

## 笑顔の鳥取県

鳥取県交通安全スローガン

智頭町議会は

「交通事故のない安全・安心なまちづくり宣言」を決議しました。



(平成29年9月20日)



### 編集後記

議会の常任委員の任期は2年です。任期は7月29日までですので、現在の議会広報常任委員(編集委員)による編集は今号で終了しました。

5月に開催しました議会報告会では、「委員会での議論や行政評価の具体的な内容も載せてほしい」などのご意見をいただきました。

誌面とページ数の制約から要約化した編集にならざるを得ない面もありますが、ご意見を参考にして工夫するよう次号から担当する新編集委員にバトンタッチいたします。

2年間、議会だよりに関心を寄せていただきありがとうございます。(高橋)

#### 編集 議会広報常任委員会

委員長	安道 泰治
副委員長	高橋 達也
委員	國本 誠一
委員	大藤 克紀
発行責任者	議長 谷口 雅人